

令和5年度 埼玉県学力・学習状況調査結果の概要

調査の概要

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 実施日 中学校：令和5年5月 9日（火）～11日（木）

小学校：令和5年5月15日（月）～17日（水）

3 調査の対象 [児童生徒数]

- ・小学校 第4学年～第6学年 [1907名]
- ・中学校 第1学年～第3学年 [1809名]

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

○教科に関する調査

小学校第4学年から中学校第1学年まで [国語、算数・数学]
 中学校第2学年及び第3学年 [国語、数学、英語]

○質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

(2) 学校に対する調査

教科に関する調査

[] 内は、県平均値を100としたときの本市の状況

■教科に関する調査の平均正答率■

(太字) は、前年度より県との差が縮まったもの (単位%)

	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
国語	62.1 (97.6)	57.4 [91.5]	58.3 [95.9]	59.6 [93.4]	54.6 [90.7]	51.5 (92.8)
算数 数学	62.4 (97.7)	57.0 [90.5]	54.7 (96.8)	53.4 [94.7]	56.8 (96.3)	55.8 [91.8]
英語					48.4 [90.8]	44.4 [88.1]

(1) 平均正答率より

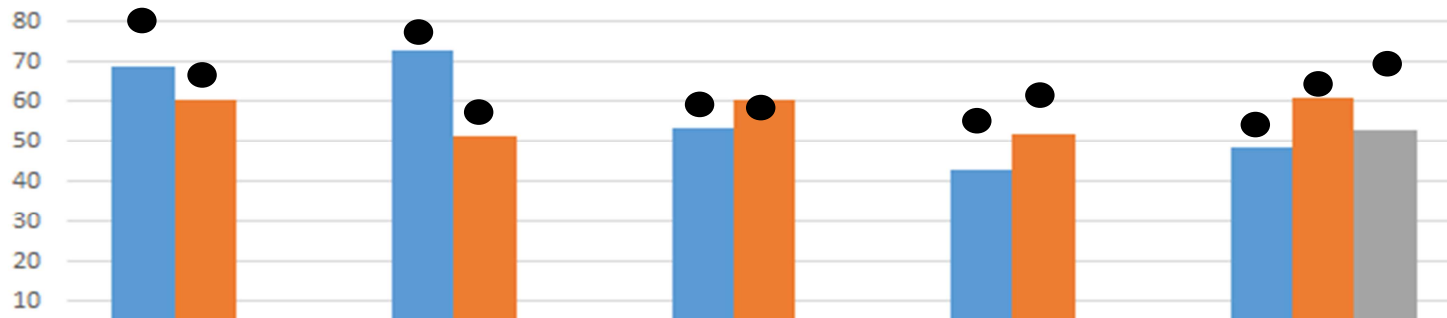
◇小・中学校ともに、全ての教科で県平均を下回っている。

◇国語、算数・数学、英語の全14調査の内5調査で前年度よりも県平均との差が縮まった。

(2) 「学力の伸び」より

◇小5から小6にかけてと、小6から中1にかけては県平均と同等の伸びが見られた。その他の学年では、伸び悩んでいる。県と同等に伸びが見られる学年は、上・中・下どの層も伸びているが、伸び悩んでいる学年は特に中位層の伸びが緩やかである。

■前年度から学力が伸びた児童生徒の割合■ (単位%) ● は、県の状況



	小5	小6	中1	中2	中3
国語	68.6	72.5	53.3	42.4	48.1
算数・数学	59.8	51.0	59.8	51.4	60.3
英語					52.8

質問紙調査

■ 「規律ある態度」 ■ ※質問事項は、教育に関する3つの達成目標の内容を抜粋
 ※「よくできる」「だいたいできる」を合わせた値(単位%)

質問事項	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
1 登校時刻	91.2 (92.0)	92.7 (93.1)	94.1 (93.9)	97.5 (97.7)	96.6 (96.5)	96.0 (95.8)
2 授業開始時刻	92.0 (90.7)	92.2 (91.9)	96.0 (94.4)	96.6 (96.7)	96.6 (97.3)	96.2 (97.4)
3 靴そろえ	83.6 (82.1)	84.3 (81.8)	89.9 (85.8)	89.7 (88.1)	94.1 (90.8)	94.5 (92.1)
4 整理整頓	79.9 (79.3)	79.0 (76.4)	83.5 (77.1)	80.5 (76.5)	84.1 (77.5)	85.6 (80.4)
5 あいさつ	80.8 (80.3)	77.0 (77.4)	79.5 (77.7)	78.1 (82.6)	81.9 (83.1)	82.8 (84.5)
6 返事	93.6 (90.1)	88.6 (88.1)	90.1 (87.8)	89.9 (89.4)	89.8 (90.1)	90.2 (90.1)
7 ていねいな言葉づかい	88.3 (85.8)	89.3 (86.6)	93.6 (88.8)	91.6 (90.9)	94.3 (92.7)	95.7 (92.5)
8 優しい言葉づかい	88.9 (86.4)	87.2 (84.7)	91.4 (85.1)	91.8 (88.7)	91.9 (89.9)	95.0 (90.2)
9 学習準備	83.6 (84.6)	85.4 (85.3)	90.1 (86.6)	90.6 (91.4)	91.7 (92.5)	94.7 (93.1)
10 話を聞き発表する	81.4 (80.8)	74.2 (77.3)	77.8 (74.4)	78.5 (79.0)	77.5 (77.7)	82.1 (78.7)
11 集団の場での態度	91.8 (86.8)	87.2 (84.7)	89.7 (85.7)	94.6 (93.1)	97.2 (94.4)	97.1 (95.2)
12 掃除美化活動	94.2 (91.8)	90.7 (89.2)	91.8 (87.9)	93.4 (87.4)	92.2 (86.8)	94.0 (87.2)

() 内は、県平均値 は、県・市の目標値(80%)を達成した項目

■ 「学校生活等に関する内容」 ■ ※「よくできる」「だいたいできる」を合わせた値(単位%)

質問事項	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
1 自分には、よいところがあると思う	80.1 (79.9)	78.8 (78.2)	83.3 (77.6)	74.9 (72.7)	78.6 (73.8)	81.5 (75.6)
2 先生は自分のよいところを認めてくれている	89.3 (89.6)	93.1 (91.8)	94.4 (91.9)	94.1 (93.9)	96.1 (93.9)	96.0 (93.0)
3 先生たちは自分の悩みの相談にのってくれる	90.1 (89.7)	91.4 (89.9)	90.9 (88.5)	91.7 (90.8)	95.2 (92.4)	95.0 (90.5)
4 友達は自分のよいところを認めてくれている	88.6 (88.1)	90.8 (90.0)	93.4 (91.2)	95.6 (93.2)	95.5 (93.5)	96.2 (93.9)
5 将来の夢や目標を持っている	83.9 (86.9)	87.1 (87.3)	83.4 (81.9)	83.1 (82.5)	75.5 (72.5)	75.8 (70.1)
6 前学年の学級での生活は楽しかった	92.7 (91.3)	93.4 (90.8)	90.3 (88.8)	90.0 (90.3)	90.9 (91.6)	90.1 (90.5)
7 前の学年での学級は、いろいろな活動にまともに取り組んでいた。	91.6 (90.9)	93.8 (91.8)	93.2 (92.3)	94.2 (93.3)	95.3 (92.8)	94.8 (92.2)
8 住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心がある	77.8 (75.5)	73.9 (72.8)	70.3 (63.5)	68.4 (60.3)	59.4 (46.9)	44.0 (38.4)
9 失敗を恐れなくて挑戦する	79.0 (76.8)	76.8 (77.7)	81.8 (75.3)	80.1 (74.3)	71.8 (66.6)	77.3 (67.3)

() 内は、県平均値 は、県平均値より高い項目

本庄市の子供の「学力」と「学習意欲等」について ～埼玉県学力・学習状況調査の結果の概要～

教科に関する調査結果から

各教科に関する調査の平均正答率は、全14調査で県平均を下回った。学力の伸びは概ね県平均と同等程度であるが、学年によって学習内容の定着に課題が見られる。

◇：よい傾向 ◆：改善の必要有り ⇒：改善策の一例

— 共 通 —

■全教科において要となる「読むこと」の力の育成が課題である。

⇒毎単元の言語活動（読解を通して得た情報や、感じたり考えたりしたことを使って表現する機会）を適切に計画し、確実に実施していく。

【小学校 第4学年】

◇国語 学力を伸ばした児童の割合が県平均と同様に伸びている。

◆算数 「図形」領域における課題が見られる。

⇒タブレット等活用し視覚的に分かる授業を行う。また習熟の時間を確保する。

【小学校 第5学年】

◆国語、算数ともに平均正答率が県平均を下回った。

⇒基礎・基本の定着を図るため、習熟の時間を確保していく。

【小学校 第6学年】

◆国語「話す・読む・書く」能力、算数は「図形」に課題が見られる。

⇒国語では、内容を整理して読み取る活動及び、その後の表現活動を充実させる。算数では、タブレット等活用し視覚的に分かる授業を行う。また習熟の時間を確保する。

【中学校】

◇2学年の数学、3学年国語の「話す・聞く・書く」能力において、平均正答率が県の平均に近づいている。

◆その他の学年及び教科領域では、どの項目においても3点以上の差がついている。

⇒本庄型授業スタンダードを基に、学習内容を明確にした授業や、適切な評価を確実に実施し、学習内容の確実な定着を図る。特に、生徒の学習活動を充実させ、思考・判断・表現する機会を充実させる。

児童生徒に対する質問紙調査結果から

「規律ある態度」に関するほとんどの項目が、各学年において目標値を達成している。「学校生活等に関する内容」でも、多くの項目で県平均を上回っていて、本市の児童生徒は充実した学校生活を送っていると考えられる。

□：よい傾向 ■：改善の必要有り ⇒：改善策の一例

【規律ある態度】

— 小学校 —

□36項目中30項目が、県・市の目標値80%を達成している。

■「整理整頓」「あいさつ」「話を聞き発表する」に関する項目は、2つの学年で目標値を下回っている。

⇒学級や学年、学校全体で整理整頓及びあいさつ運動などに取り組み、意識化したり習慣づけたりしていくとともに、家庭とも連携協力をしていく。

⇒授業だけでなく、学校生活の様々な場面で表現及び発表する機会を増やす。

— 中学校 —

□36項目中33項目が、県・市の目標値80%を達成している。

■「あいさつ」に関する項目は1学年で、「話を聞き発表する」に関する項目は、1・2学年で目標値を下回っている。

⇒授業だけでなく、学校生活の様々な場面で表現及び発表する機会を増やす。

【学校生活等に関する内容】

— 共 通 —

□県平均に達していない項目もあるが、県平均とほぼ同等程度の結果である。

— 小学校 —

□「前学年の学級での生活は楽しかった」に関する項目は、いずれの学年も県平均を上回り、90%以上である。

— 中学校 —

□「先生や友達は自分のよいところを認めてくれている」「先生たちは自分の悩みや相談にのってくれる」に関する項目では、いずれの学年も県平均を上回り、90%以上である。

■「前学年の学級での生活は楽しかった」に関する項目は、いずれの学年も県平均を下回っているが、90%以上である。

改善に向けた教育委員会の取組

○学力向上推進委員と協力し、自校における各学年の学力についての実態を分析・把握し、それに応じた手立てや支援を行っていく。

○調査結果や分析結果を基に、学力を伸ばした効果的な取組を見いだして市内に広めるとともに、指導主事の学校訪問により学力向上の取組を充実させる。

☆
学
力
☆

☆
学
習
意
欲
等
☆